

日本企業の生成AI導入・効果・管理体制

対象：IPAの2026年企業調査・日本企業1,799社

公開日：2026-09-01

結論

44.0%の導入率は成功率ではありません。対象業務、入力しない情報、人が確認する箇所、記録する効果と誤りを決めて検証します。

44.0%	31.8%	14.2%
生成AIを導入済み・n=1,787	期待どおり以上・n=1,037	AI固有の管理・n=1,190

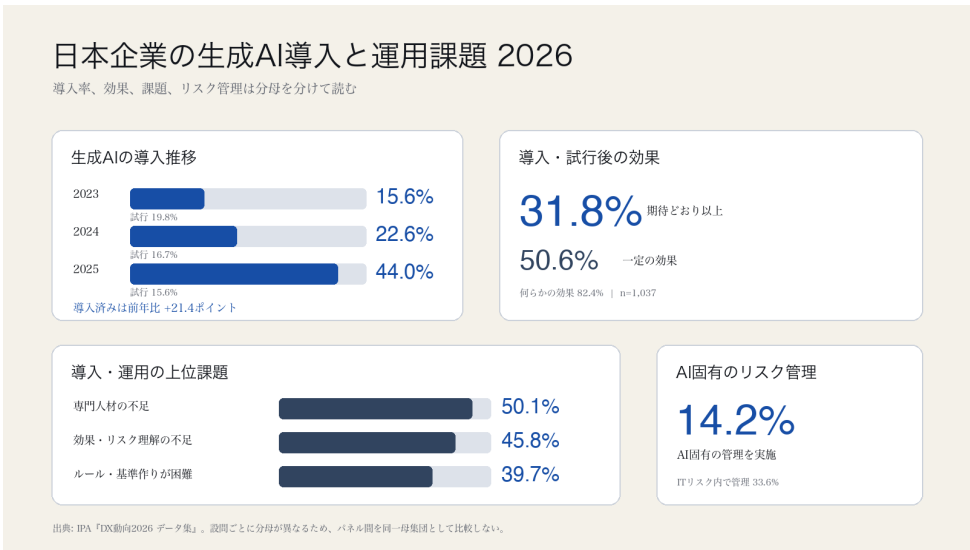


図 生成AIの導入、効果、課題、管理。設問ごとに回答対象が異なります。

分かったこと

- 導入済み44.0%：2024年22.6%から2025年44.0%へ21.4ポイント増えました。
- 効果設問は別の回答対象：期待どおり以上31.8%、効果ありを含め82.4%です。
- 運用上の課題：専門人材50.1%、理解45.8%、規則39.7%が上位でした。

限界

- 自己申告の横断調査で、導入が業績を改善した因果関係は推定していません。
- 企業規模、業種、目的、利用頻度をそろえた比較ではありません。
- 設問ごとに回答対象が異なり、企業単位の移行率は計算できません。

次のデータ

同じ企業について、対象業務、利用頻度、投入時間、修正回数、誤り、管理方法を同じ時点で記録します。

出典

IPA DX動向2026／IPA DX動向2026 データ集／経済産業省 AI事業者ガイドライン第1.2版